

(8面から続く)

桜井ガス
地域活性化を図る町おこしイベントには積極的に参加予定、引き続き地域見守りネットワーク活動の継続。

新宮ガス
新宮市消防本部と「火災予防啓発の連携に関する協定」を締結して、地域の火災予防の観点から住宅用火災警報器の普及促進活動を行っている。

河内長野ガス
河内長野ガスグループでは、以前から次世代育成事業に取り組み、06年度から「小学校出前教育プログラム」を行い、延べ59の小学校に127回実施。20年度からは課外授業の「放課後子ども教室」や地域の公民館が主催する自然体験教室にも協力。昨年度はコロナ禍で中止となったが、「市民まつり」などのイベントには毎年ブース出展も含めて参加している。昨年度は街おこしムービーの「鬼ガール!!」(20年9月全国ロードショー)に協賛した。また、市内の地域団体が主催する市民向けのSDGs講座の講師やパネリストを従業員が務めた。

名張近鉄ガス
料理教室の開催、地元ケーブルテレビでの料理番組の配信などガスの魅力を伝える活動を行っている。加えてソーシャルネットワークサービス(SNS)を活用した地域のお店紹介など世代を問わず、さまざまなツールを利用し、積極的に地域PRを行っている。

また、大型台風や豪雨による避難生活に備えるため、地域の高齢者や小学生を対象に防災教室を開催し、日頃からの心構え、周辺危険箇所の把握、地域の避難場所、役立つ調理法などの情報提供を行っている。

甲賀協同ガス
地域の顧客を招く感謝祭イベントを中心に毎年秋に開催しているガス展について、新型コロナウイルス感染症の影響で現在のところ開催できそうにない状況。ただ、収束すればすぐに開催できるよう準備を進めている。防災に関する協力はもとより、最近は空き家対策事業など、市との新しい協力体制を模索中。

日本海ガス
自治体主催のSDGs普及啓発イベントに出席し、持続可能な社会の構築に向けたグループの取り組みを紹介。地域産業振興および地方創生に向け、ビジネスプランコンテストの開催、ビジネスインキュベーション施設の運営を行い、新ビジネス創出を志す起業家を支援。食育として、「ちゃんと火を使う子どもになってほしい」というコンセプトで子ども料理教室・親子料理教室を開催し、ウイスクス親子クッキングコンテストへの参加呼び掛けを富山県内の小学校に向けて行う。

高岡ガス
ガス会社は「顧客の暮らしを快適にする」会社であり、先ずはガスを使っていたく地域が元気なだけではない。当社としては中心市街地の発展やにぎわい創出のため、地域の各種事業に積極的に参加・協力を行い、地域社会発展に寄与していく。また、その取り組みに関わることにより地域社会との関係強化を推進するとともに社員の意識向上を図る。

金沢市
職員による業務開始前の庁舎周辺のゴミ拾いを年に数回行っているほか、ソーシャルまでガス器具を見に来ることができない顧客のために、紙上展示会として、DM送付によるガス機器のセールを実施している。

小松ガス
秋にガス展開催を予定しており、地域密着のガス会社を目指している。また、年2回の小松市役所環境美化ボランティア(わかまち美化びか隊)に参加し、地域貢献している。

福井都市ガス
地域経済の活性化への貢献を目的とした、地元企業の積極的な活用を進める。例えば、地域事情に精通した地元企業に業務発注することで、業務内容や対応すべき事象に応じて適切に判断し、効果的かつきめ細やかな業務実施、現場対応等を実現していく。

また、ガス事業を通じた地域共生の取り組みの一つとして福井市と「福井市あんしん見守り活動に関する協定書」を締結し、高齢者と子どもの見守り活動を行い、高齢者と子どもが住み慣れた地域の中で安心して暮らせる地域社会を目指す。

越前エナライン
例年、地域のLPガス事業者と協調し、供給区域内の保育園に向けた食育教育を実施している。また、事業所周辺の清掃活動、町内行事における支援活動を実施している。

敦賀ガス
毎年9月に行われている氣比神宮祭(つるがまつり)の神輿渡御には大半の社員が参加している。8月に行われる敦賀大花火大会にも協賛している(20年度は両方とも中止)。

丹後ガス
毎年2回地域活動「舞鶴の海と川を美しくする会」で清掃活動に全社員で取り組んでいる。また、当社はソフトボール場を所有していた、地元の学童チームに無償提供している。

福知山都市ガス
地域で行われている高齢者見守り事業や健康増進事業への参加。

長田野ガスセンター
11年に京都府、福知山市と地域の暮らしを見守る活動として「中丹ふるさとを守る活動に関する協定」を締結し、見守り活動(都市ガス供給区域の暮らしを見守るセーフティネットへの貢献)と農村交流活動(農村集落での草刈りボランティア)を継続している。

大津市
19年度から大津市の住民に選んでもらえるよう、多様なサービスを実施できる官民連携の新会社を設立し、本市のガス小売事業を承継した。導管事業については、公共の福祉増進の基礎となる導管整備を実施するため、引き続き公営で実施、運営する。

豊岡エネルギー
毎年8月に開催される豊岡の行事である「豊岡おどり」への参加。豊岡本社周辺の清掃、側溝清掃を定期的に実施。兵庫県主催のクリーン作戦(クリーン但馬10万人大作戦)への参加。豊岡本社構内において、年1回の献血を実施。

篠山都市ガス
行政や地元企業等と連携を図り、空き家対策計画および企業誘致を官民協働で展開、地域活性化につながるよう取り組んでいる。住まいに関する生活サービスの提案を継続し、さらなる信頼関係を構築している。

伊丹産業
市主催の防災訓練への積極参加。ガス部門の地震発生時対応として、都市ガス、LPガス両部門で参加し、供給停止から安全点検、供給再開等の訓練を実施。市主催の他イベントへの参加。

津山ガス
特に目新しい取り組みはしていないが、06年のLNGへの転換以来近隣の小学校6年生を対象にした工場見学の毎年行っている(今春その見学会への参加者が初めて当社に社入した)。それに加えて夏休み親子見学会を開催して宿題の題材提供をしたり、写生大会を行って好評だった。他には津山の夏祭り「ごんご祭り」でゴミステーションのボランティアを行ったり、道路清掃・河川清掃等に年に何度か参加している。ただ昨年度のコロナ禍でほぼ全てのイベントは中止となり、見学会は年内開催しない予定。

福山ガス
ライフライン事業者4社(電力・NTT・水道局・ガス)の共同により、市内の小中学校に対して防災教室を開催している。地震や台風などの災害時に役立つ知識や、防災意識の向上を目的に昨年度は2校で実施。本年度も2校を予定している。

因島ガス
因島水車祭り「小早レース」に企業チームとして参加している。また地域環境保全の一環として定期的に道路の

ごみ拾いを行っている。

米子ガス
地域の大学、高専等への寄付事業、防災協定締結。

浜田ガス
飲食店応援プロジェクトとして、テイクアウトを実施している飲食店のチラシを作成し、新聞折込として紹介。

久留米ガス
社屋1階のショールーム内でガスを使用した料理教室を定期的に開催しており、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行った上で実施している。

大牟田ガス
毎年、大牟田市が行っている企業出前講座「がんばる地場企業」に参画し、高齢者施設や公民館等でガスの保安やヒートショック予防についての豆知識講座の開催や、小学校で「天然ガス」をメインとしたエネルギーの出前講座等を実施していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で休止を余儀なくされている。今後は、要望があれば感染状況を見ながら、感染予防を徹底し、できる範囲内で活動を継続していく。

高松ガス
現在はコロナの影響で全て自粛している。通常であれば、清掃活動、ガス展示会、地域の祭りに参加、バスハイク、各種イベントを実施している。

唐津ガス
01年5月から毎月1回、会社付近の清掃活動を継続している。また、地元である唐津駅の清掃活動にも月2回程度参加している。5年ほど前より、唐津ガス杯グランドゴルフ大会、そして一昨年から、中学生野球教室を開催していたが、現在はコロナ禍により中断している。

宮崎ガス
地域活性化につながるイベントの開催＝①宮崎国際音楽祭、宮崎ガスグループ Presents 演奏会。②宮崎ガスグループ林レディースミニパレード大会。③宮崎ガスジュニアゴルフ選手権大会。

企業による森林づくりへの参加＝「宮崎が好き(宮崎ガス樹)未来の杜」(宮崎県東諸県郡綾町の1.5ヘクタールの土地に約3750本の照葉樹林の植樹)。

地域のイベントや美化活動への積極的な参加。事業活動や社会貢献活動を通じたSDGsの取り組み促進。

南日本ガス
コロナ禍により地域で実施される催しの中止が相次いだ。例年市内内外の多数の企業・団体が次世代エネルギー関連のさまざまな製品や取り組みを紹介するイベントに我社も参加している。また各イベント、活動への協賛も行っており、地域行事の一つでもある祭りでは、踊り連として参加し沿道の顧客より声援ももっている。また、自社において工場見学を実施し、子供達の夏休みの体験学習として多数の顧客が参加している。

加治木ガス
13年、始良市西餅田に「がスマイル」(ショールーム)を開設し、当社のアピール、展示会を開催し、機器の販売促進等、地域需要家以外でも要望に応え、信用、信頼に努め、地域の発展にも貢献したいと考えている。

しかし、昨今の新型コロナによる社会情勢、状況で展示会は開催しなかった。

国分準人ガス
行政が行う地域内公的活動への参加。加入団体での地域内ボランティア活動。地域特産物の積極利用。

出水ガス
コロナの影響により、地域のイベントに参加できない中で地域貢献等を利用した再エネ発電事業を行っている。

沖縄ガス
下水道処理場から発生する消化ガスを利用した再エネ発電事業を行っている。

②コージェネの取り組み

東京ガス
コージェネレーションシステム(CGS)を主体としたエネルギーサービス提案をこれまで以上に推進するために、大型CGS(1000～9000kWクラス)および中型CGS(400kWクラス)の高効率・低コスト化を進めるとともに、独自開発したエネルギーサービス設備遠隔管理システム「ハリオネットアドバンス」を高度化し、より省エネ、省コストな設備運用を積極的に展開していく。併せて、小型CGSを含めたリブレース市場に取り組みしていく。

大阪ガス
20年4月に発売した家庭用燃料電池「エネファーム typeS」の販売が好調で、20年度の販売台数は2万2000台を超え、販売累計台数は今年3月に14万台を達成できた。新製品は、世界最高の発電効率55%を達成するとともに、発電ユニットの大幅な小型化により設置性が向上。また、台所と浴室リモコンに便利なツナガルススイッチを搭載し、IoTサービスを拡充した。

また、業務用CGSについては、20年度は経済性、省エネ性に事業継続計画(BCP)価値を加えた総合提案を行い、約8.2万kWの成約実績を上げることができた。引き続き、域内のリブレース推進と域外での新規大型案件獲得を目指す。

21年度も、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う営業活動縮小により、器具販売への影響が懸念される。エネファームは、1万9600台、業務用CGSは、約7.0万kWの販売目標としている。

東邦ガス
原油価格の変動や電力市場の変化に起因したランニングコストメリットの変化等はあるが、高い省エネ・省CO₂性やレジリエンス向上への貢献など、CGSの魅力は顧客のニーズに合わせて積極的に訴求していく。また、エネルギーサービスや補助金の活用に関する提案も組み合わせたサービスを提供し、引き続きCGSの新規導入・リブレースを着実に進めていく。

西部ガス
昨今の自然災害に伴い分散型エネルギーとしての注目が高まっており、省エネ・省CO₂に加えてBCP対策を強く訴求しながら普及拡大に努めていく。

京葉ガス
熱需要がマッチングする物件が限定的であり、初期費用が増額となるCGSの採用は厳しい状況にあるが、省エネ法はもとより昨今の大規模災害への対応における重要性を考慮しBCP対策を切り口とした販売促進を図る。

北海道ガス
家庭用＝コロモが最高効率運転で発電し、発生する熱を暖房に最大限利用しながら、当社が余剰電力を買い取る「コロモ余剰電力買取サービス」を実施。環境性・経済性の訴求を通じて、マイホーム発電の普及率向上を目指す。

重点ターゲットのハウスメーカーへコロモとエネファームのブッキングスタート(BOS)機能を訴求し、宅地造成等での導入を図る。

業務用＝強靱性の高い中圧ガス導管を活用し、病院・学校・避難所指定場所等の重要拠点へのCGS導入を提案。都心部や再開発物件で街づくり計画に参画し、CGS導入による省エネや重要拠点の防災性向上を提案する。

ネットゼロエネルギービル(ZEB)プランナーとして、これまでの事業で培ってきた知見と技術を活用したZEBの提案・設計・運用サポートを実施。省エネ、快適、レジリエント型のZEBを推進していく。

広島ガス
家庭用＝建設物価高騰や、補助金(国)の減少など、販売環境は厳しさを増している。一方、甚大な自然災害など地球温暖化の影響が顕在化し、災害によるエネルギーセキュリティの社会的ニーズが全国的に高まっている。そのため、環境性、レジリエンス性に優れたエネファームの存在が、より重

要性を増していると考える。19年度より開始したエネファーム typeS 発電余剰電力買取サービスなど、新たなサービスも活用し、一層の普及拡大を図る。

業務用＝分散型発電設備であり、排熱を空調や給湯などに有効利用でき、省エネ効果、省CO₂に貢献できる。

国土強靱化に資する防災用の電源としても注目され、ニーズが高まっている。将来にわたり成長が期待できる分野であり、エネルギーサービス、エネルギーの面的利用等の総合エネルギー提案の中で、CGS普及を図る。

仙台市
家庭用＝住宅展示場等を活用し、停電発生時の発電継続機能の有効性の提案PRに取り組みるとともに、ネットゼロエネルギー住宅(ZEH)を推進する住宅メーカーへの提案拡大に努めている。また、提案においては、住宅メーカーのリフォーム部門や販売店と連携し、機器更新やリフォーム物件からのリブレース採用増を目指す。

業務用＝コロナ禍において、世相的に設備投資を見送る傾向が顕著に表れ、CGS導入の提案を行って検討してもらった物件に対しても先送りする状況であった。他方、近年国内で多発している大規模災害への対応に有効な設備であることが認知され、レジリエンス、BCPの観点から注目を集めている。設備導入時の懸念となり得る投資(インシヤルコスト)に関しては、補助金等を活用してフォローしていく。地震災害に限らずさまざまな災害を想定したエネルギーセキュリティ向上を訴求点として導入を図っていく。

北陸ガス
公共施設への導入については財政事情の厳しい自治体が多く導入には補助金の活用が欠かせず、民間でも同様な状況である。今年度新たに拡充になった補助金のPRを行い、避難所施設や災害拠点施設などを対象に、需要の掘り起こしを行っていく。

静岡ガス
昨今の大規模災害を受けて高まるBCPニーズに応えるため、停電対応型CGS導入の提案を進めるとともに、静岡ガス&パワーによる電力供給を組み合わせたソリューション提案も行うなど、CGSの付加価値を訴求した営業を引き続き展開する。また、エネルギーの地産地消を目指して、電源CGSの導入や、地元自治体との連携のもと、地域分散型エネルギーネットワークの構築を推進する。さらに、更新時期を迎える機種や、工場の操業形態の変化などによって電熱バランスが合わなくなった機種のリブレース営業にも注力する。

四国ガス
カーボンニュートラルを見据え、30年へ向けて段階的な脱炭素社会を目指し、省エネ・省CO₂に優れたCGSの普及促進に努める。施策としては、初期投資の高価な部分は各種補助事業を活用し、料金メリットを最大限に活用した提案を推進する。また、近年風水害による被害が多発し、ますます防災の意識が高まる中で、BCP強化対策として停電対応型CGSの提案活動も推進する。

東部ガス
課題＝低廉な電力料金との競合、インシヤルコストの低減。

施策＝エネルギーサービスを活用したCGS導入・更新提案。メンテナンスを活用したCGSの導入・更新提案。省エネ、CO₂削減による付加価値提案。国の補助金導入の支援をしてインシヤルコストの削減。

サウラエナジー
レジリエンスの向上と省エネ・省CO₂に貢献する最適なエネルギーシステムとして、補助金も活用しながら特に停電経験のある既存顧客へ新設・更新提案を推進していく。

武州ガス
CGSの優れた省エネ・省CO₂性を熱需要の多い顧客に訴求するとともに、災害時のBCP対策やエネルギーセキュリティへの関心が高い工場や病院等の施設に対して、CGSと商用電力の連携による電源の多重化や停電対応仕様によるレジリエンス向上など、顧客のニーズに合った提案を行っていく。

導入時の高コストが課題だが、補助

金の活用やエネルギーサービス等、初期投資を低減できるサービスを提案していく。将来的に、工業団地内での建物間での熱融通など分散型エネルギーシステムの面的利用を検討していく。

山口合同ガス
既築物件への新規提案と経年機器更新への対応が課題。自由化以降の電気料金値上げによりCGSのランニングコストが低減している。昨今の度重なる災害により、BCP対応へのニーズが高まっており、停電対応機によるレジリエンス強化をメインに提案営業を実施していく。

大多喜ガス
BCPの観点及び再生可能エネルギー発電促進課金の負担増からCGSに対する評価が高まる一方、経済性では依然厳しい状況。50年のカーボンニュートラル実現に至る移行期においてCO₂削減を実現できる最善なシステムの提案により、普及を促進する。

日本ガス
今年度も新築・建替を計画している顧客や設計事務所へBCP対策を踏まえたレジリエンス系の補助金活用による費用削減を訴求し、導入を進める。

業務用固体酸化燃料電池(SOFC)については水素社会の実現に向けて行政と連携・協議を行い、設置に向けて販売やメンテナンスの体制構築を進めていく。

岡山ガス
エネルギー基本計画に基づく低炭素化を実現するために、分散型エネルギーシステムの普及、それを通じた地域の活性化や地方創生などへの期待が示されている。CGSは経済性の向上やCO₂排出量削減に効果があるほか、分散型電源として災害時のBCP対応にも力を発揮する。

こうしたメリットをしっかりと伝えるため、提案のスキルアップを図り、さまざまな補助金を有効に活用しながら導入件数を増やしていく。また、家庭用ではエネファームの普及促進を通して、住宅省エネ強化やレジリエンスの向上に貢献していく。

東彩ガス
CGSのメリットであるBCPを前面にした提案営業を福祉施設等へ展開していく普及拡大を図るとともに電力とのセット販売を提案していく。

家庭用の普及促進については、新築時に導入していただけたらというハウスメーカーや工務店へ営業はもとより既築戸建住宅向けには、埼玉県の住宅用省エネ設備導入支援事業補助制度を積極的に活用し、CGSの設置を推進していく。

旭川ガス
BCP対策としてマイクロCGS・停電対応型GHPを病院や老健施設などに対して営業提案を進めている。補助金を活用し、提案により停電対応型GHPの促進を図る。

岩見沢ガス
設計事務所、建築業界へPR活動を強化し、環境性に優れた天然ガスや省エネ機器、低コストを含めた提案力強化を図る。

滝川ガス
課題＝設置費用(インシヤルコスト)が高いこと、メンテナンス管理等の運用面での不安や問題があり、顧客のニーズに合わせたケースが多いこと。また、当社の推奨するLPGでのCGSとまたランニングコストでのアドバンテージが少ないことがあげられる。

施策＝条件が合う条件を模索すること。また、災害対策としてのメリット等および脱炭素社会への対応を加味し提案していくことが重要と思われる。

苫小牧ガス
家庭用ではガスマイホーム発電コロモが20年度より市の補助金支給対象となった。これまでネックであったインシヤルコストが抑えられる形になるのでPRの強化を図る。

▶(10面から続く)

<p>東邦ガス</p> <p>取締役社長 加藤 孝治</p> <p>本社 東京都千代田区内幸町一・三・二回 電話 〇三(五五〇〇)三九一五 ★本ホームページが新しくなりました★</p>	<p>東京ガス不動産</p> <p>代表取締役 穴水 孝</p> <p>東京都港区港南二丁目十五番三号 品川イターシテック棟22階 電話 〇三(三三七七)六九〇一(代)</p>	<p>東京ガスエネルギー株式会社</p> <p>代表取締役社長 中村 恒</p> <p>東京都港区芝公園二丁目四一 電話 〇三(六四〇一)〇一六六</p>	<p>W-eco-p</p> <p>代表取締役 杉浦 誠</p> <p>本社 三三三三〇三 電話 〇三(五五〇〇)三九一五 FAX 〇四(四五)八四四五 三三三三〇三</p>	<p>株主会社 タツ</p> <p>代表取締役 龍野 廣道</p> <p>東京都港区三田三二二一六 電話 〇五(九九〇〇)五五七</p>	<p>株式会社 タチバナ製作所</p> <p>代表取締役 池田 吉彦</p> <p>三重県伊賀市伊賀町平古二二二 電話 〇五九四(七四)五〇八〇</p>	<p>株主会社 竹中製作所</p> <p>代表取締役 住友 大祐</p> <p>千葉県市川市市川南五二一三三 電話 〇四七(三三二)二二八八</p>	<p>大成機工株式会社</p> <p>代表取締役社長 鈴木 仁</p> <p>本社 大阪府北区梅田1丁目1番3 TEL 06(6)3444777 TEL 06(6)3444771</p>	<p>東洋計器株式会社</p> <p>代表取締役 水越 靖</p> <p>富山県射水市本江二七九五 電話 〇七六(八六)八八五五</p>	<p>101 東洋ガスメーター株式会社</p> <p>代表取締役 水越 靖</p> <p>本社 松本市和布田三九六二一 電話 〇五五(四八)二二二二</p>	<p>株主会社 パナ製作所</p> <p>代表取締役 林 克昌</p> <p>東京都中央区銀座二一六一二 電話 〇三(五七六)五三一一</p>	<p>株主会社 ニシヤマ</p> <p>代表取締役 西山 正晃</p> <p>東京都港区白金台三二二一〇 電話 〇三(六四四)八八二七 八二七五八</p>	<p>NTEC</p> <p>代表取締役 泉 雅彦</p> <p>東京都港区白金台三二二一〇 電話 〇三(六四四)八八二七 八二七五八</p>	<p>株式会社 日本サーモエナー</p> <p>代表取締役 佐藤 元彦</p> <p>東京都大田区南蒲田二二二二二 電話 〇三(三七七)八四四一</p>	<p>株式会社 ノーリツ</p> <p>代表取締役 腹巻 知</p> <p>神戸市中央区江戶町九三 電話 〇七(八三)九三三六</p>	<p>PURPOSE パーパス株式会社</p> <p>代表取締役 高木 裕三</p> <p>静岡県富士市西柏原新田二〇〇 電話 〇五(四五)三三三三</p>	<p>株主会社 パロマ</p> <p>代表取締役会長兼社長 小林 弘明</p> <p>名古屋市瑞穂区桃岡町六一二 電話 〇五二(八二四)五二二二(代)</p>	<p>株式会社 藤井合金製作所</p> <p>代表取締役 藤井 康孝</p> <p>京都市南区上鳥羽一名一八一 電話 〇七五(六八二)二五〇一</p>
--	--	---	---	--	--	--	---	--	--	---	---	---	--	---	--	---	---